

JR沿線におけるまちづくりに関する取組状況について

JR沿線における「駅を中心としたまちづくり」については、JR西日本との包括連携協定に基づき取組を進めているところです。

つきましては、西明石地区の活性化に向けた検討状況、及び、大久保・魚住駅間の車両基地・新駅の設定に関するJR西日本からの具体的提案の延期の状況について、報告します。

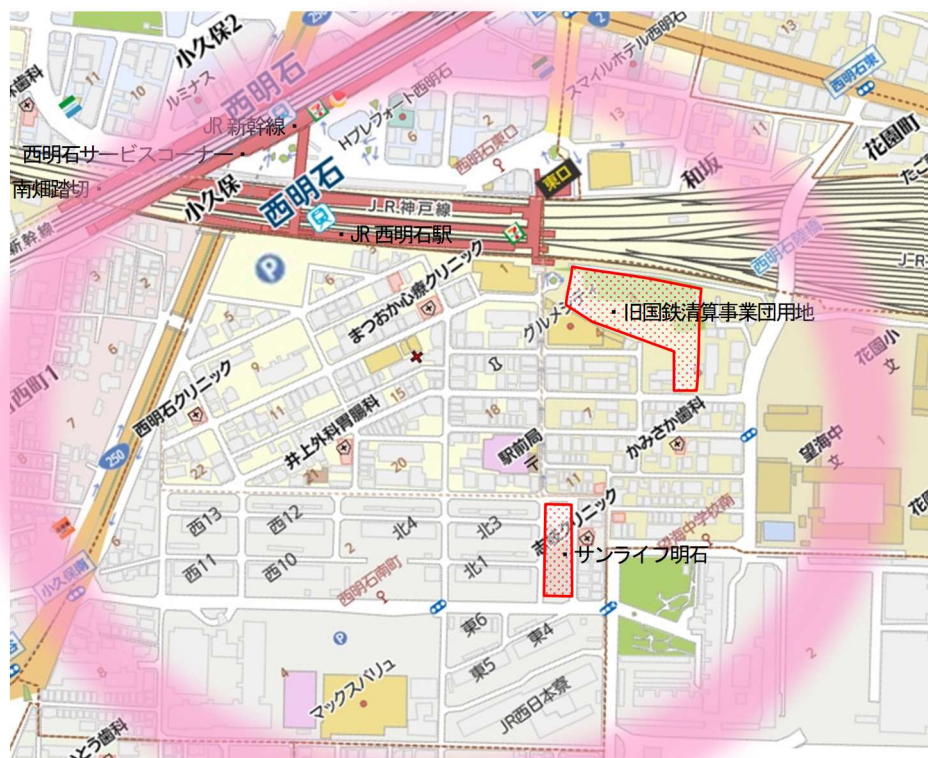
1 西明石地区の活性化に向けた検討状況について

現在、西明石活性化プロジェクト協議会でとりまとめられた「まちづくりの姿」における地域共通の最優先課題の解決に向けた検討を進めているところです。

本市が所有する旧国鉄清算事業団用地の開発を含めたエリア全体のまちづくりについて、JR西日本と連携しながら、駅及び駅周辺のバリアフリー化やアクセスの向上、地域交流拠点の整備など、地域の活性化及び安全性・利便性の向上等に向けた検討を行っています。

検討内容

市が所有する旧国鉄清算事業団用地などについて、JR西日本所有地も含め、それらの活用方法や事業主体、費用負担など、事業スキームについて、同社とともに検討しています。



©ONE COMPATH 地図データ©INCREMENT P

出典：マピオン地図

エリア全体のまちづくり

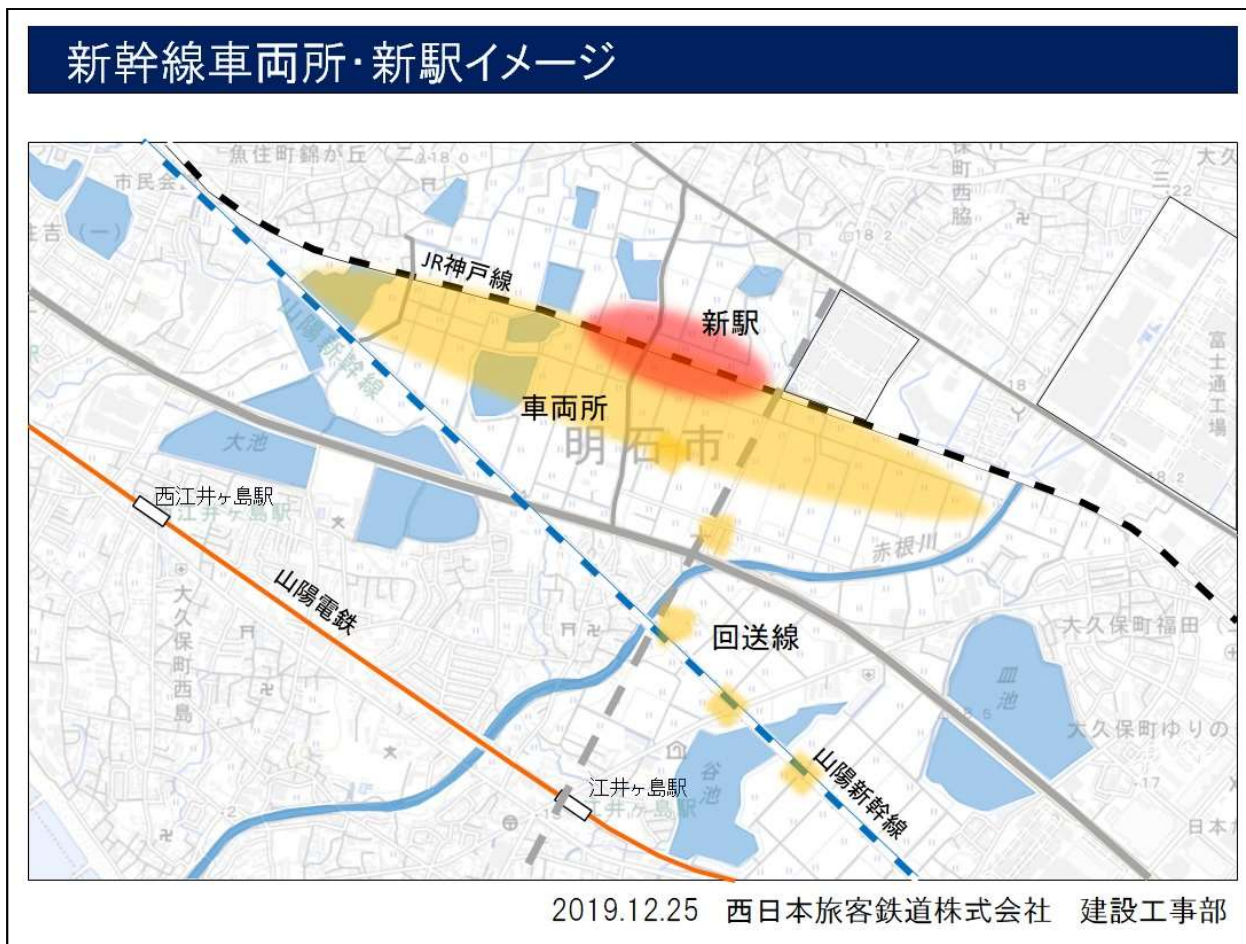
地域共通の最優先課題の解決に向け、「JR西明石駅及び駅周辺の安全性と利便性の向上」と「地域交流拠点の充実」を図るため、南側から駅へのアクセス性の向上や、地域交流拠点整備などに向けた取組を進めていきます。

2 JR西日本からの車両基地・新駅に関する具体的提案の延期について

昨年12月25日にJR西日本から本市に対して、JR車両基地・新駅について、以下のイメージ図の提示があったところです。

JR西日本からは、本年3月を目途に車両基地及び新駅に関する具体的な提案を行う旨の意向が示されていましたが、この度、次のとおり提案を延期する旨の連絡がありました。

2019年12月25日JR西日本から提示を受けたイメージ図



2020年5月29日JR西日本からの連絡事項

車両基地に関する具体的な提案については、社内調整を進めてきましたが、新型コロナウイルスによる社会経済情勢の変化により、JR西日本の経営環境にも多大な影響が出ています。

車両基地の必要性については変わらないものの、車両基地等のプロジェクトについては、今後の情勢を踏まえ、スケジュール等を見直す可能性があるため、今は市に対して提案できる状況になく、具体的な提案を延期します。

また、今後の提案時期の目途についても、まだ見通せない状況であり、未定です。